

新造船「第3おうむ丸」竣工！



雄武漁協のホタテ漁船「第3おうむ丸」がこのたび竣工し、雄武漁港でお披露目されました。十勝管内広尾町の有限会社広洋造船鉄工で建造された船は全長20m、14t型のアルミ船で、5月2日に雄武漁港に到着し、入港式並びに安全祈願が挙行されました。式では漁業関係者や町民など多数が集まり、餅まきや振る舞い酒で待望の新造を祝い、ホタテ貝漁業生産部会の森山義文

部会長は「新しい船で多くのホタテを水揚げしてくれることを期待している」と話していました。第3おうむ丸は揚貨装置の取り付けなどの準備を行い、5月10日から漁場造成に加わっています。

雄武地域
コミュニティ
から版

かわら版

第82号

R5.5.23 発行

サケ稚魚の海中飼育350万尾放流

雄武漁協では、町内の4つの漁港（沢木、雄武、元稲府、幌内）でサケ稚魚の海中飼育を行っています。ふ化から海へ放流するまでの間に海中飼育を行うことで、海に慣らしながら効率的に体長を大きくさせ、生存率や回帰率を高める目的があります。4月中旬から海中での飼育が開始され、5月中旬に合計で350万尾もの稚魚が海に放流されました。大海原を旅して3年後には立派になって無事に帰ってきて欲しいですね！





ホタテ稚貝放流スタート



5月10日からホタテの稚貝放流が始まりました。昨年の秋から沖合の養殖施設で育てられた稚貝は、直径4センチほどに成長。陸上に引き揚げられた後、手際よくカゴから取り出され、選別作業を行い、再び船に積み込まれ沖合に放流しています。稚貝作業には人手がいるため、町中から多くの方が手伝いに集まり、浜は活気づいています。雄武では海域を4区画に分け、1年ごとに区画を替えて漁獲しており、この春に放流されるホタテは3年後に水揚げされます。稚貝放流は5月下旬まで続く予定で、合計で約2億粒が放流されます。順調に育てておいしいホタテになりますように。



おうむ産業観光まつり 4年ぶりの開催！

6月24・25日に雄武町の一大イベント「おうむ産業観光まつり」が4年ぶりに開催されます。24日（土）の前夜祭では地元と道内のチームによるよさこい演舞や花火大会、25日（日）の本祭ではホタテ釣りや雄武の特産品が当たる抽選会などが行われます。会場内では旬の海産物や乳製品の即売会、地元の飲食店が出店するフードコーナーで食を楽しめるほか、ステージでは演歌歌手のさくらまやさんの歌謡ショーや地元の吹奏楽バンド、沢木小学校伝統の沢木太鼓などが会場を盛り上げます。たくさんのご来場お待ちしております！

第45回 お待ちせしめた 4年ぶりの開催 ふるさと100メモリアル広場

おうむ産業観光まつり

6月24日 土 前夜祭 17:30-21:00

- 雄武高校軽音楽部ライブ
- 衣子壱（いしが）& 何ん田研三ライブショー
- さくらまや歌謡ショー
- YOSAKOIソーラン演習
- 花火大会

6月25日 日 本祭 9:00-14:00

- 開会式（カマボコまき）
- 雄武中学校・雄武高校吹奏楽部
- 層の子唄スーパースターwithOSB ● 沢木太鼓
- YOSAKOIソーラン演習1部
- ウルトランメンテッカーミニショー
- 衣子壱ライブショー ● おうむの祭り市
- YOSAKOIソーラン演習2部
- さくらまや歌謡ショー
- 抽選会

無料ホタテ釣り

抽選会

海産物の即売会 おうむの須崎まき カマボコまき 雄武産物即売会

雄武町産業観光まつり実行委員会 〒098-1703 北海道雄武町三軒宮1684-14
 (おうむ産業観光まつり) 検索 0158-85-7234 (総務課・観光協会)

主催 SAPPORO

【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

E-mail: suisan@town.oumu.hokkaido.jp



※マリンビジョンとは？

活力ある水産業や漁村の将来像を実現するため、水産物の安定供給体制や環境保全と循環型社会の構築、漁村地域の総合的な振興を目指す将来ビジョンです。